

【道北】 平成 29 年 7 月 5 日（水）（旭川市・上川合同庁舎） 参加者：93 名

- 1 説明 「地域学校協働活動及び放課後児童クラブの方向性について」
講師 上川教育局教育支援課社会教育指導班 主査 尾 中 康 裕

「地域学校協働活動」について、中教審答申のポイントから国の動向について説明がありました。

また、学校支援地域本部事業や、放課後子ども総合プラン、地域学校協働本部、コミュニティ・スクール等、北海道の各事業の状況を説明し、それを踏まえ、地域と学校の連携促進に向けた今後の方向性について紹介がありました。

参加者からは、「国の動向や今後の動きが分かった。」「自分の立場でも地域の方と関わっていきたいと思った。」などの感想が寄せられました。



- 2 講義 「特別な支援を必要とする児童への対応について」
講師 上川教育局教育支援課義務教育指導班 指導主事 但 田 寛 和 氏

特別な支援を必要とする子どもの特性や対応例について講師の実体験を交えながら説明がありました。

視点を変えることで見えてくること、適切な対応の重要性、問題行動が増える原因等についての紹介があり、その後、参加者同士で話し合う演習が行われ、参加者は、自分たちが関わる子どもたちの姿をイメージしながら、理解を深めました。

参加者からは「指導者の言動で子どもの行動が変わることが再確認できた。」「児童の姿を思い浮かべながら考えることができた。」といった感想が寄せられました。



3 選択研修

- 選択研修A 「子どもの学力向上につながるプログラム」
講 師 上川教育局教育支援課義務教育指導班 指導主事 木 下 浩 太 氏

理科を専門とする木下氏を講師に迎え、「理科実験遊び」を体験しました。

塩とボウルを使った声紋調べ、音の振動調べ、ペットボトルとビー玉でつくる顕微鏡等、身近なものを材料としてできる理科実験について、体験を通して学びました。

参加者からは「作り方も難しくなく、子どもたちとすぐ取り組める内容で楽しかった。」「子どもたちも興味を持ってくれると思う」などの感想が寄せられました。



- 選択研修B 「自然体験・外遊びを促すプログラム」
講 師 国立大雪青少年交流の家 企画指導専門職 村 澤 泰 志 氏

国立大雪青少年交流の家の村澤氏を講師に迎え、自然体験、外遊びを体験させるときに、どんな危険があり、回避するためにどうするかといった注意事項について学びました。

また、自然を活用したビンゴや「つまようじ虫を探せ」等、実際に外に出て簡単にできる外遊びを体験しました。

参加者からは「活動の意義や意味など、指導者として一歩進んだ体験ができた。」「身近な自然や道具から様々な活動が行えることを知った。」などの感想が寄せられました。



選択研修C 「創作活動プログラム」

講師 道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川 社会教育主事 平下 裕 哉 氏

道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川の平下氏を講師に迎え、創作活動を体験しました。

はじめに、固定されたビー玉が上がったり下がったりするように見えるおもちゃ「ビー玉コロネ」を作成し、次に、昔ながらのおもちゃ「びっくり封筒」を作成しました。見た目と違い、簡単に作ることができることから、参加者たちはそれぞれ工夫をしながら作品づくりに取り組みました。

参加者からは、「子どもに教えてあげたいと思える内容だった。」、「夏休みの工作に活用したい。」といった感想が寄せられました。



選択研修D 「親子で楽しめるプログラム」

講師 宗谷教育局教育支援課社会教育指導班 主査 小島 紀 行 氏

親子で楽しめるプログラムとして、宗谷教育局教育支援課社会教育指導班の小島主査を講師に、バルーンアートの技法を学びました。

はじめに、メディアを離れ、親子で体験活動を行う意義や、ノーゲームデーの取組について説明があり、その後、実際に風船を使い、バルーンアートに取り組みました。風船をねじることで様々な形をつくる活動に、最初は恐る恐るだった参加者たちも次第に慣れ、犬や花といった難しいものにも挑戦していました。

参加者からは「もう少し練習して子どもたちに教えられるようになりたい。」、「楽しくやらせてもらいました。」といった感想が寄せられました。



4 情報交流

講師 上川教育局教育支援課社会教育指導班 社会教育主事 佐々木 直 人

同じ事業区分ごとでグループをつくり、日常の取組や現状、悩みなどについて情報交流を行いました。

はじめに「この場で聞いてみたいこと」を考え、次にグループ内で交流する活動を行いました。話題は、予算の話から、子どもたちの男女の差について、活動の内容、人気の遊び、子どもたちへの接し方など多岐に渡り、参加者達は積極的に情報を交流しました。

参加者からは、「同じ課題のある市町村と交流できてよかった。」「アイデアをたくさん聞くことができた。」、「やってみたいことも多く、持ち帰って実践したい。」などの感想が寄せられました。

